

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

と う う ん
稲 雲

令和7年度 第8号

令和7年8月1日発行

発行者：校長 田中 朗裕



○1学期の終業式を実施しました

7月18日（金）に、72日間の第1学期の終業式を実施しました。校長式辞では、「挑戦」や「努力」を通して、成長できる夏休みすること、そして自分の命を大切にすることについて話をしました。代表の4年生と6年生の児童2名から「1学期を振り返って」という作文の発表があり、4年生は、1学期に大きな声でしっかりあいさつができるようにしたこと、勝敗に関わらず、みんなと協力して運動会をがんばれたことについての発表がありました。6年生は、自分の役割から自分の行動を見直し、勉強に取り組む姿勢に変化が出たこと、それがメディアコントロールにつながったり、勉強する時に友だちと一緒に考える楽しさやわかるようになる喜びを感じるにつながったりしたという経験を発表しました。各学年の代表として堂々と発表する姿は、とても立派で、聞いていて感激しました。終業式終了後に、吹奏楽コンクールや英語検定、「稲レク」の表彰も行い、一人一人が自分のがんばったことやこれからの抱負について話をしました。夏休みは、7月19日（土）から8月24日（日）までの37日間です。



○中体連県大会 勝利を信じて全力で戦いました!!

7月21日（月）に福島市の福島トヨタクラウンアリーナで卓球競技、22日（火）・23日（水）に郡山市の宝来屋ボンズアリーナでバドミントン競技が開催されました。卓球は、生徒2名が個人戦ダブルスに出場し、バドミントンは、団体とダブルス2ペアが出場しました。どちらの競技も初戦で涙を飲む結果とはなってしまいましたが、息詰まる熱戦を繰り広げ、最後の瞬間まで諦めず、全力で戦う姿が見られました。保護者の皆様にも、応援に駆けつけていただき、誠にありがとうございました。9年生は、これで部活動が一区切りになります。新たな目標に向かって、力強く前進していくことを期待しています。選手のみなさん、本当にお疲れ様でした。

【卓球競技結果】

個人戦ダブルス 1回戦 対 平三中 2-3 惜敗

【バドミントン競技結果】

団体戦 1回戦 対 IBA（クラブチーム） 0-2 惜敗

個人戦ダブルス 1回戦 対 B・B會（クラブチーム） 0-2 惜敗

1回戦 対 白河二中 1-2 惜敗



○「熟議」を行いました

7月22日（火）の午後3時30分から、本校会議室において「第2回稲田学園地域運営協議会及び学校評議員会」を開催しました。今回は本校の職員も参加して「熟議」を行いました。児童生徒及び本校の「よさ」と「課題」を共有した後、目指す児童生徒像、学校像に近づくための方策について協議しました。最後に協議内容を全体で共有し、今後の学校経営についての多くのヒントと気づきをいただくことができましたので、2学期以降の教育活動に生かしていきたいと考えています。平日の忙しい時間帯での開催にも関わらず、快くご出席いただいた皆様に感謝しております。

熟議の中で出た意見の一部を紹介させていただきます。

	現在の姿（実態）	目指す姿になるための方策
児童生徒	【よさ】 あいさつ、素直、明るさ、礼儀、下学年への思いやり、協力的、学校行事や部活動への積極的な取組、異学年との交流 【課題】 学習意欲の向上、学習習慣の定着、学力向上、人間関係への不安、より高い目標の設定、メディアコントロール、児童生徒数の減少	• 学び方を子ども自身が選択できる学び • 「わからない」を言える環境づくり • 子ども同士が学び合う場の設定 • 学習する意味や学び方の周知 • 子どもが自ら気づく指導 • 子ども同士の関わりを増やす取組 • 手本となる活動や目標となる先輩の紹介 • 「稲田あいさつ」の周知と徹底
稲田学園	【よさ】 校則の柔軟性、地域の協力と連携、幼小中の連携、前・後期課程の連携と情報共有、特色ある教育活動、通級指導教室の設置、朝の登校指導、部活動への早期入部 【課題】 人間関係の固定化（各学年1学級）、稲田学園ならではの1ギャップ、校則のあいまいさ、目標や向上心をもたせる取組	• 学習する意味や学び方の家庭への周知 • 表現（文章等）できる子どもの育成 • 自律した子どもの育成に向けて、敢えて「してあげない」教育 • ソーシャルスキルの獲得と向上 • 前・後期課程合同の行事、1～9年生の縦割り活動 • 読書量を増やす取組 • 学校の「しかけ」と地域の協力



随 想 地域に愛される学校を目指して ～地域運営協議会を通して～

本校は「目指す学校像」を「子ども達の『笑顔』と『本気』、教職員の『やりがい』と『思い』」が満ちあふれる、保護者から信頼され、地域からも愛される学校」としております。そして、それを実現するために3つの目標を掲げています。その中に「保護者や地域と協働する地域に開かれた学校」というものがあります。この目標の実現に向け、7月22日（火）に実施した「稲田学園地域運営協議会及び学校評議員会」に、初めて先生方に参加していただきました。学校がどんな意図をもって教育活動を行っているか、そしてどんな成果が上がっており、どんな課題が見えているかについて、学校と委員や地域の皆様で共有していくことが、とても重要であると考えたからです。

夏休み中ということもあり、先生方全員に出席を求めることはしませんでした。多くの先生方が参加し、委員の皆様と一緒に稲田学園の「今」と「未来」について「熟議」をすることができ、活発な協議の中、先生方に「外側から見た子どもたちと学校の姿」を感じてもらったり、地域の皆様の願いや子どもたちへの愛情を感じてもらったりすること、先生方や学校の思いを委員の皆様へ伝えたりすることができ、学校と地域の皆様が協働する「第一歩」を踏み出せたと嬉しく感じています。